

社会でリーダーシップを発揮できる人材と、 世界を目指せるテニスプレイヤーの育成を行う



株式会社 ワールドアスリートクリエイションカンパニー

大阪府富田林市中野町東 2-4-39
URL : <https://japaneseway.net>

代表取締役 今井 渉

2008年に設立された「ワールドアスリートクリエイションカンパニー」では、世界で活躍できるプレイヤーを育成するためのテニススクールを運営している。テニスに限らず、スポーツを軸に様々な挑戦を続けている今井社長のもとを本日は大沢樹生氏が訪問。お話を伺った。

—はじめに今井社長の歩みから。

大阪府堺市の出身です。学生時代は、とにかくテニス漬けの日々でした。卒業後は「リコー」に就職して、7年ぐらい実業団のテニス部と仕事を両立していたんです。そしてテニス部の引退を迎えた時、そのまま営業職として会社に残るという選択もありましたが、「今まで頑張ってきたテニスで何かできれば」と思い退職することになった。その後は縁あってテニスの監督業を任せていただき、そちらでは創部2年目で全国制覇を達成することができました。そして2008年、当社を設立した次第です。

—輝かしい実績を残されているんですね。指導者としての仕事には、プレイヤー時代から興味をお持ちで？

—これは、プレイヤーとしての人生しか考えていませんでした。しかし引退するころになって、「自分は人にやる気を出させることが得意なのだ」と思うようになり、指導者の道に入ることを決めました。そこから指導の勉強を始め、海外の育成スクールも見えてきて、改めて日本人はレベルが高いと感じ、環境さえ整えれば世界で戦える選手を育成できると感じたのです。また、会社で学んだ営業ノウハウや組織づくりも育成に取り入れることができるのではと思

—実際に監督をして、結果を出せたことで「この道を進んでいこう」という覚悟が決まり、起業に至ったわけですか。

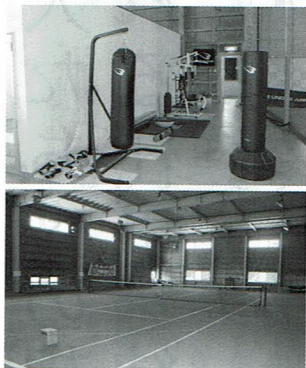
—御社ではどのような業務を手掛けているのでしょうか。

ジュニアテニスから世界を目指す、本格的なテニススクールを運営しています。「テニス道」と題して独自のノウハウとコンセプト、文武両立の精神をもとにプログラムを作成し、世界に輩出できるプレイヤーの育成に取り組んでいます。指導の中で特に大事にしているのが、テニスだけでなく、挨拶などの礼儀や人間力の部分です。いくらプレイヤーとして優れていても、人間的な部分に欠陥があれば、プロとしてやっていくのは難しいですから。

—プロの業界は厳しく、挑戦する者全員が夢を掴めるほど甘くはありません。しかし当社のスクールでは、プロになることができなくとも、社会に出た時、立派にリーダーシップをとれる人材を育成することができると自負していますよ。

—スポーツは体力的な面だけではなく、精神面も大きく成長させてくれますからね。では最後に、今後の目標を。

—現代には、塾や受験を優先させて、子どもたちの特異性をブロックしてしまう風潮



after the interview

「スポーツの可能性を信じ、考え抜かれたメソッドでテニスプレイヤーの育成を手掛ける今井社長の情熱に、圧倒されましたね。こちらのスクールで学ぶ生徒さんたちが、いつか世界に羽ばたけるよう、陰ながら応援しています」

大沢 樹生
(俳優)



—があると思います。だからこそ、特異性に向き合うことのメリットを強く訴えていきたいです。また、来年にはウエルネス事業を立ち上げ、スポーツやストレッチを通じて姿勢を改善したり、地域の人の健康をサポートしていきたいですね。そうすることで、ここ富田林市をスポーツシティにしていきたいと考えているのです。そして最終的な夢は、生徒がグラウンドスラムに出場し、それをファミリーボックスから応援することですね。

